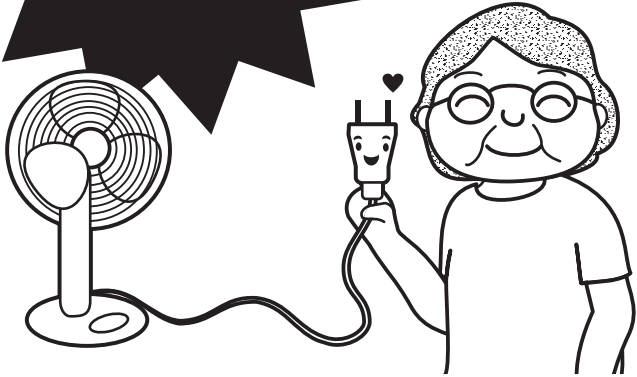


家電製品を安全に使う

シニア世代の
事故防止②



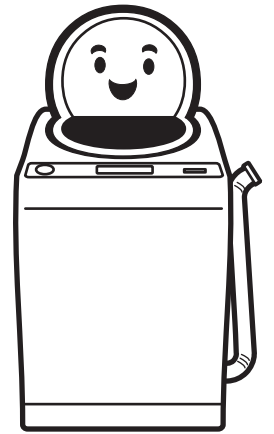
宣言
明るい笑顔
すぐ返事
伝える元気

かちどき薬品 ホームページ
げんき君 健康に関する情報がいっぱい
<http://www.genki1616.co.jp>

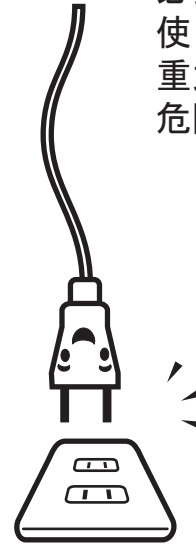
かちどき薬品グループ

安全な使い方を見直そう

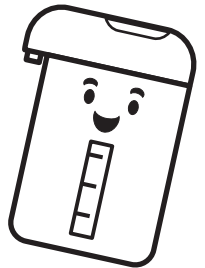
便利な家電製品やガス器具は、現代の日常生活にとって必要なものですが、使い方によっては重大な事故につながる危険性も潜んでいます。



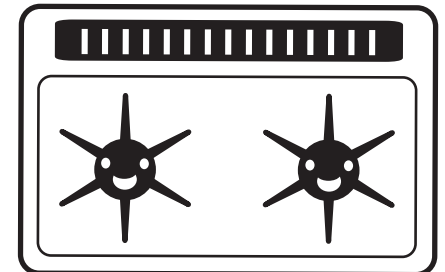
シニア世代では“ちょっとしたことで”“うっかりしていて”事故につながるケースが多く見られます。



いつも何気なく使っている身の回りのものに目を向けて、安全な使い方を見直してみましょう。

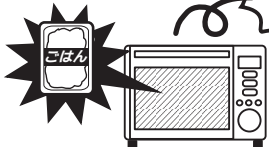


手軽で便利な家電の種類はいろいろ…それぞれの製品によって注意したい使い方があります…



こんなうっかり事故が 起こっています

電子レンジ・
オープンレンジ



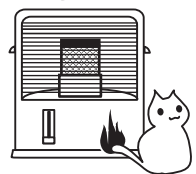
レトルト食品を未開封のまま加熱したら
破裂して、熱くなった食品が飛び散った。

電気ポット・電気ケトル

誤って倒してしまい、
沸騰したお湯で
やけどした。

暖房用機器

ストーブに近づき
過ぎて、服に火が
ついてた。



洗濯機

回転中に手を入れ、洗濯物が
からまってケガをした。

電源コード・
コンセント

濡れた手で触れ、感電した。

ガスコンロ・IH調理器

鍋を火にかけたまま、
居間でちょっと休んで
いたら、火をつけている
のを忘れてしまい、
鍋を焦がした。

Zzz



原因
は

長い間の使用で製品が劣化していたり、
本人の誤った使い方や不注意によって
起こる事故が多いことがわかっています。
このような事故の背景には、
製品の安全性に対する過信と、危険性への
意識の低さがあるのかもしれません。



●ガスコンロ・IH調理器

カレーを温めていたら、
熱くなったカレーが
飛び出してきた。

防ぐ
には 混ぜながら加熱する。



●電子レンジ

電子レンジで牛乳を温め、
取り出そうとしたら突然
激しく吹き出した。

防ぐ
には スプーン等で混ぜてから
加熱する。取り出す時は
十分気をつける。
食品に応じた加熱時間を
守る。

こんな事故が起こっています

とっぷつ
「突沸」現象に注意!



液体などを加熱しすぎると、
突然激しく沸騰して液体が
吹き出す「突沸現象」が起こる
ことがあります。

過熱状態の時に震動が加わると
起こりやすいため、庫内から
取り出す時は注意が必要です。



! 温めた牛乳に
粉末コーヒーを
入れる時など
にも起こります。

加熱し過ぎてしまったら…
少し時間をおいてから取り出す。

レンジを使用中、庫内から
煙が出てきた。
扉を開けたら突然火が出た。

こぼれたり、飛び散った食品が
庫内についたまま使っていると、
火花が出たり、発煙・発火する
ことがあります。

防ぐ
には 汚れはこまめに
拭き取る。

もし発火したら…
慌てずに扉を閉めて【とりけし】
を押して、コンセントを抜く。
燃えやすいものは付近から離す。
火が消えない場合は、消火器や
水で消す。



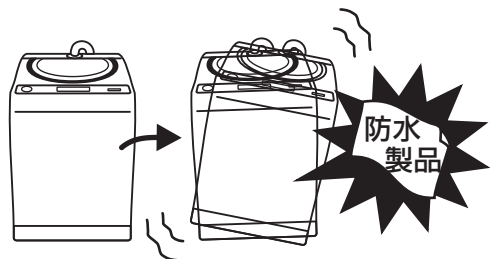
→まだ消えないなら 119

洗濯機

脱水をしている時、大きな音がして洗濯機が倒れた。

防ぐには 防水製品は脱水機にかけない。

防水性のものを脱水すると、高速回転中に水が片寄って大きな揺れを起こし、洗濯機が壊れたり、バランスを崩して倒れることもあります。



×【防水製品の例】
サウナスーツ、ウェットスーツ、レインコート、寝袋、スキーウェア、自転車カバー、レジャーシート、おねしょシート、おむつカバー など

脱水が終わったと思い、洗濯物を取り出そうとしたら手が巻き込まれた。

防ぐには 回転が完全に止まるまで、脱水槽には手を入れない。

ゆるい回転でも、洗濯物が手や指に巻き付いてケガをする恐れがあります。

ふたを開けてから15秒以内に止まらない場合は…
故障の可能性があるため、使用中を中止し、購入店やメーカーに相談しましょう。

暖房用機器

愛犬のために使っていたホットカーペットの電源コードを犬が噛んでしまい、出火した。

防ぐには 家電製品に近づけないようにしたり、外出時は電源をコンセントから抜いておく。ペット専用の製品を使う。

ペットは飼い主の目の届かない所でコード類を噛んだり、電気製品に排泄することもあります。他に、ストーブに飛び乗って電源が入り、事故になった例もあります。



電源コード・コンセント

ドライヤーを使っていたらコードから火花が出た。

防ぐには コードに無理な負担がかからないようにする。傷があるものは使わない。

コードに傷がついて、電線がむき出しになっていると、発熱・発火する恐れがあります。

ねじれて折れ曲がった状態で保管したり、束ねて使うなど、無理な状態で使用を続けると、コードが断線しやすく危険です。

延長コードを固定していたら下のじゅうたんが焦げた。

防ぐには コードは固定したり、折り曲げない。

ドライヤーなど、電気を多く使う製品は特に注意が必要です。



【電気を多く使う製品】
ドライヤー、アイロン、掃除機、トースター など

使っていない家電製品をコンセントに差したままにしていたら出火した。

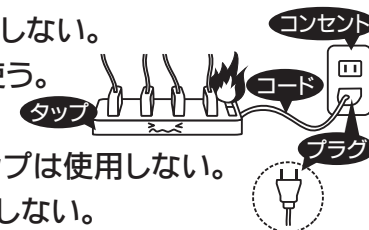
防ぐには コンセント周りのほこりはこまめに掃除する。差しっぱなしにしない。

「トラッキング現象」とはプラグを差したコンセントにほこりがたまると、湿気などによって電気が流れて出火する現象で、気づかぬうちに火災になる恐れがあります。

トラッキングが発生しにくい対策をした部品もあります。

電源コード・コンセントを安全に使うには

- プラグを抜く時、コード部分を持って引っ張らない。
- コードとコードを自己流でつないだりしない。
- 延長コードは、許容電流の範囲内で使う。
- たこ足配線をしない。
- 差し込み口がゆるいコンセントやタップは使用しない。
- よく電源が切れてしまう場合は、使用しない。



長期使用で経年劣化していませんか

家電製品を正しく使用していても、長期間の使用によって部品が劣化し、発熱・発火するなどの事故に至る恐れがあります。



防ぐには …経年劣化による事故を防ぐ基本は…

- 取扱説明書の注意書きを守り、正しく使う
- 定期的に点検する
- 異常を感じたら使用をやめ、すぐに専門業者に相談する

事故の多い製品の「危険信号」check!

エアコン	扇風機・換気扇	洗濯機
電源コードやプラグが異常に熱くなる	電源を入れてもファンが回らない	脱水中ふたを開けても15秒以内に止まらない
プラグが変色している	ファンの回転が不規則	床に水漏れの跡がある
電気のブレーカーがよく落ちる	モーター部分が熱い、または焦げ臭い	焦げ臭い
ブラウン管テレビ	ガス瞬間湯沸器	石油ふろがま
電源を切っても映像や音が消えない	点火できない	灯油のにおいがする
映像が欠けている	湯温が安定しない	灯油が漏れる
映像がちらついたり揺れたりする	炎が赤い	湯温が高くない
	使用中に気分が悪くなる	異常な音がする

事故が起こったら

自分の不注意だから迷惑を掛けたくないと考え、誰にも相談せず、どこにも言わずに済ますことが多いのではないのでしょうか。起きた事故の情報によって、今後同じような事故が起こるのを防いだり、製品の問題点が明らかになる場合もあります。

欠陥製品
故障
不注意
経年劣化
? ? ? ?



対処法 ◎製品が原因と思われる場合は、メーカーや消費生活センターなどに申し出ましょう。



どこに相談していいか、わからない場合はこちらへ

消費者ホットライン 0570-064-370(全国共通番号)

※最寄りの消費生活相談窓口を案内してもらえます。

防ぐには ◎欠陥のある製品が見つかった場合、事業者が自主回収や交換を行うことがあります。新聞や消費生活センターの広報誌などに掲載される情報を読み、該当製品がないかよく確認しましょう。